

松浦 MS × 合原 MS

合同シンポジウム 2021

09:00-09:05 ご挨拶 松浦善治・大阪大学

09:05-09:10 ご挨拶 合原一幸・東京大学

【ウイルス感染のデータ解析】

09:10-09:40 江島啓介・インディアナ大学「SARS-CoV-2 感染動態の定量」

09:45-10:15 岩見真吾・名古屋大学「多階層ウイルス感染動態の定量」

10:20-10:50 川上英良・千葉大学「ウイルス感染による免疫動態の定量」

【ウイルス感染のデータ計測】

11:00-11:20 澤新一郎・九州大学

「インフルエンザウイルス感染における免疫細胞の遺伝子発現変容とその解析」

11:20-11:40 岡田峰陽・理化学研究所

「生体内イメージングによる免疫細胞動態の解析」

【連携探索のための総合討論】

11:40-12:20 「ウイルス学と数理科学の融合研究における問題とその解決法」

ファシリテータ：

岩見真吾・名古屋大学 川上英良・千葉大学 島村徹平・名古屋大学

12:20-12:30 クロージング 松浦善治・大阪大学 合原一幸・東京大学

2021 年 9 月 8 日 (水)

ムーンショットプロジェクトの目標2

では、数理科学的アプローチを駆使した **異分野融合研究** が重視されている。松浦課題の最終目標は“**感染症から解放された社会**”の実現。そのためにウイルスと人体相互作用ネットワークを理解し、制御することをミッションにしている。一方合原課題では、あらゆる分野の問題解決を可能にする世界最先端の数学理論、数理解析法、データ解析法、数理モデル、コンピュータシミュレーションなどの数理科学技術群を応用展開し、他課題と積極的に連携した『**課題間連携**』を実現することも重要なミッションの1つである。新型コロナウイルス感染症が引き起こした損失は甚大であるが、ウイルス感染症の重要性を社会が認識し、基礎および応用の両側面からのウイルス学研究が期待される側面もある。今回の合同シンポジウムでは、課題間連携の可能性を **対話型アプローチ** により探る。特に、ウイルス感染現象に焦点を当てた研究成果の実例を紹介し、関連する今後の研究の可能性を多角的に議論していく。

参加登録 <https://forms.gle/M89cCFaNwoHumRXUA>



2021 年 9 月 8 日 (水)